

週報

Rotary



福岡中央
ロータリークラブ

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



世界に希望を生み出そう

「CREATE HOPE in the WORLD」

2023-2024年度 国際ロータリー会長
R.Gordon R.McInally

「ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう」

国際ロータリー第2700地区

2023-2024年度 ガバナー 吉田 知弘

「再び動かす我らの歴史」

2023-2024年度 福岡中央ロータリークラブ

会長 怡土 順治 幹事 泥谷 高博

本日の例会 令和6年6月10日(第2073回) VOL.47 No.38

卓話

「“備前福岡から筑前福岡へ”名付けの理由を大胆に推論する」

備前福岡案内ガイド協会 大倉秀千代 会長

ロータリー親睦活動月間

今後の
例会予定

- ・6月17日(月) クラブ協議会「次年度運営方針及び予算」※例会は30分で終了
- ・6月24日(月) 怡土順治会長・泥谷高博幹事 退任挨拶
- ・7月 1日(月) 泥谷高博会長・竹下盛人幹事 就任挨拶

「ザ・サザンリンクスの朝」

沖縄の南部にあるザ・サザンリンクス ゴルフクラブでの1枚。前日からずっと雨が降っていましたが、スタート前になると…。太平洋に差し込む奇跡の光です。 次田武史



例会日…毎週月曜日 12:30~13:30 例会場・事務局…西鉄グランドホテル

TEL 714-0305 FAX 714-0311 E-mail fukuoka-chuo-rc@wind.ocn.ne.jp HP <http://www.fukuoka-chuo-rc.jp>

前週例会の記録(6月3日)

出席報告

前回例会 6月3日		前々回例会 5月27日	
会員数	53名	会員数	53名
出席会員	42名	出席会員	40名
ビジター他	5名	修正	2名
合計	47名	免除	0名
出席率	79.25%	修正後出席率	79.25%

-来訪者内訳-

2660地区吹田RC1名・福岡RC1名
福岡城西RC1名・衛星クラブ2名 計 5名

ロータリーソング

清成 留美 ソング副委員長

・君が代 ・奉仕の理想

会長の時間

怡土 順治会長



今月は親睦活動月間になっています。よく「親睦と奉仕の両輪」と言われますが、まずロータリーは、いつから親睦が言われるようになったのかからお話しします。ロータリーが出来た時の話です。弁護士でありロータリーの創設者ポール・ハリスが初代シカゴ・ロータリークラブ会長で石炭商のシルベスタ・シールに食事をしながらロータリー構想を話すとき「親睦について」の最初の言葉がでてきます。その後、最初のロータリークラブであるシカゴ・ロータリークラブが1905年2月23日に設立されますが当初のシカゴ・ロータリークラブには奉仕の概念はなく、事業の繁栄と親睦を目的に設立されています。その後1912年8月6日、シカゴクラブ定款が変更され、親睦と事業の利益の推進という目的がなくなります。月日は流れロータリー受難の時代といえる1923-1924年度RI会長のガイ・ガンディガーという方の国際大会は有名な決議23-34(ロータリーの奉仕理念を明文化したもの)があり、ロータリーにとって節目となる時代です。この年は日本では関東大震災がおこった年でこのRI会長は東京の災害復興に多大に貢献した方で、このガイ・ガンディガーRI会長は、ロータリーで初めての文献と成るものを残した人物としても有名です。その文献の中で親睦についてこう語っています。「良き親睦は、決してロータリーのすべてではないのであって、良き親睦はロータリーという苗木が根をおろし、成長するための土壌をなしているのである。」

そして、この良き親睦を形成するものとして7つを上げています。①真心のこもった握手 ②姓ではなく、名前で呼び合うこと ③歌の合唱を行うこと ④ある種のウィットに富んだ行動 ⑤各会員相互に行われるその他の親切 ⑥同僚たる会員および招待者に対する礼儀正しい行動 ⑦老練な企業経営者にして初めてできる、紳士の振る舞いと思慮深さ この7つが親睦を形成するものと言っています。初期のロータリーから探れる確かな「親睦」はポール・ハリスの話と、ガイ・ガンディガーRI会長の文献ぐらいしか日本では探せません。たくさんの「親睦」についての文章のほとんどが戦後の日本人ロータリアンが思考して書いた哲学感の強い個人的な文章でしかありません。では、日本のロータリーのいう真の「親睦」とは何でしょうか。このような、残っている話を元にして日本のロータリーでは先ほどもお話ししましたが「親睦と奉仕の両輪」と語られ、それを説明するために「親睦と奉仕」はクラブ内活動とクラブ外活動、例会活動と例会外活動、と言い換えて具体的に説明しています。ロータリアンには卓越した事業の専門家がいますし、豊かな人生経験を持った人や、高い倫理観を持った方がいます。確かにロータリークラブは人生勉強に事欠きません。ある時は師となり、ある時は生徒となってクラブ例会を通して人生を学んでいます。それらを可能にする前提としてはロータリアンがすべて平等でなくてはなりません。そのような雰囲気の中で行われる平等なテーブルでの会員相互の切磋琢磨によって奉仕のところが育てられるとロータリーは言っているのではないのでしょうか。そんな奉仕と親睦の両輪を実践しているのが我々のクラブであり、エンジョイロータリー衛星クラブだと思います。今日は、先日とんでもない距離を完走した江口さん・八木さん・井手さんが出席しています。恐らくロータリーの友情の精神がなければ実現しなかったでしょうし、ゴールまでたどり着くことはなかったのではないのでしょうか。その3人のお話しを楽しみにしつつ私の会長の時間はここまでにしたいと思います。